

2016年6月 城岳小学校図書室

としよしつだより

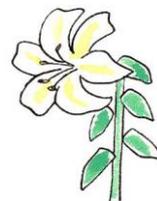


へい わ じゅん かん 平 和 旬 間

6月7日(火)～6月22日(水)

へいわ たいせつ かんが しゅうかん

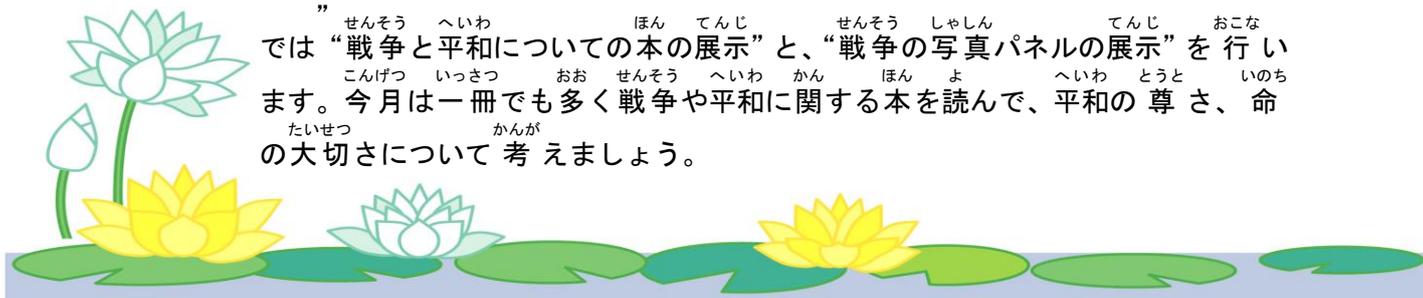
— 平和の大切さを考える2週間 —



つゆ きせつ ことし おきなわ わす ひ
梅雨の季節になりました。今年もまた、沖縄にのって忘れられない日がやってきます。

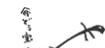
いま ねんまえ おきなわ ひとひと ま こ おお せんそう ち おこな
今から71年前、沖縄の人々を巻き込んだ大きな戦争が、この地で 行 われま
した。亡くなった人の数は約20万人。6月23日の「慰霊の日」を前に図書室

” せんそう へいわ ほん てんじ せんそう しゃしん てんじ おこな
では“戦争と平和についての本の展示”と、“戦争の写真パネルの展示”を行 い
ます。今月は一冊でも多く戦争や平和に関する本を読んで、平和の 尊 さ、命
の大切さについて かんが えましょう。



いれい ひ 慰霊の日ってなに？

がつ にち いれい ひ
6月23日は慰霊の日です。



いれい ひ は せんそう で 亡くなったひとひとの霊をなぐさめ、二度と戦争をおこさないよう、「平和」への決意をあらたにする日です。沖縄戦では20万人をこえる戦死者のうち、約半分の戦死者が兵隊以外の県民や子どもたちでした。沖縄では慰霊の日を休日にし、各地で慰霊祭を行っています。

としよしつ 図書室からのおねがい

さいきん ひろ もの としよしつ ほん
最近、拾い物として図書室の本がとどけられた
みず ほん かえ
り、水にぬれてしまった本が返される
ことが多くなっています。本は、みんなの宝物です。
ひとり だいいじ
一人ひとりが大事にあつかうように
ちゅうい
注意しましょう。



せんそう へいわ ほん

【戦争と平和の本のしょうかい】

かな つしまる はなし いのち たいせつ
『悲しい対馬丸の話—命こそ大切—』

たいへいようせんそうちゅう せんそう おきなわ
太平洋戦争中、戦争がはげしくなった沖縄
から安全な九州へ疎開する1600人余りの
こ おとな つしまる とちゅうてき
子どもや大人をのせた「対馬丸」は途中敵の
せんすいかん ぎょらい かいすい
潜水艦の魚雷をうけます。そして、海水がど
ふね なか こ うみ と こ
っと船の中にながれ込むとみんな海へ飛び込
むのですが…。 (099 ヒ)



画像なし

としよ いんかい ざくせいちゅう
「図書委員会だより」作成中…



「図書委員会だより」を今年からはじめます。よめばとくする情報がいっぱいあるのでぜひ、よんでみてください。

委員長 嘉数蓮可

あたらしい本のしょうかい

5がつに はいった本

※これらの本は各学年に配り、学級での利用となります。(10月まで)

☆★課題図書☆★

- ・ポタンちゃん
- ・ひみつのきもちぎんこう
- ・みずたまのたび
- ・アリとくらすむし

(1・2年生)

- ・二日月
- ・さかさ町
- ・木のすきなケイトさん
- ・コロッケ先生の情熱！古紙リサイクル授業

(3・4年生)

- ・茶畑のジャヤ
- ・ワンダー
- ・ここで土になる
- ・大村 智ものがたり

苦しい道こそ楽しい人生

(5・6年生)

☆★指定図書☆★

- ・くまくまパン
- ・さくらいろのりゅう
- ・はしれディーゼルきかんしゃデーデ
- ・たんていネズミ ハーメリン
- ・おしりたんてい
むらさきふじんのあんごうじけん
- ・むしとりにいこうよ

(1・2年生)

- ・まほうのかさ
- ・サウスストリート大パニック！
よみがえる恐竜
- ・ルージーといじわるなへいたいさん
- ・空飛ぶのらネコ探検隊
アフリカゾウ大ピンチ！
- ・ようこそ、ペンション・アニーモへ
- ・わすれたって、いいんだよ

(3・4年生)

- ・丸天井の下の「ワーオ」！
- ・かぐや姫のおとうと
- ・空へ
- ・清政～絵師になりたかった少年
- ・宇宙への夢、カいっぱい！
- ・ぼくが弟にしたこと

(5・6年生)

6月すいせん図書

* 1ねんせい

- 「そして、トンキーもしんだ」
- 「まちんと」
- 「トビウオのぼうやはびょうきです」

* 2ねんせい

- 「ちいちゃんのかげおくり」
- 「えんぴつびな」
- 「かわいそうなぞう」

* 3年生

- 「焼けあとのおかしの木」
- 「つるちゃん」

* 4年生

- 「ちむどんどん」
- 「すみれ島」
- 「ことばのこぼこ」

* 5年生

- 「原爆の火」
- 「おとなになれ
なかった弟たちに」
- 「地雷ではなく花をください」

* 6年生

- 「森は地球のたからもの」
- 「森は生きている」
- 「電池が切れるまで」

